

Ⅲ 石巻市環境基本計画の平成30年度実績点検・評価（環境目標・指標）

基本目標	No.	施策の分野	指標	指標項目	現況値（平成26年度）	目標値（平成37年度）	平成29年度結果	評価	平成30年度結果	評価	備考
多様な自然との共生	1	(1) 自然環境	総合指標	「多くの自然や生物に恵まれている」といった自然環境の満足度	47.3%	60.0%	62.3%	4	53.2%	3	
	2	(1) 自然環境	環境指標	森林面積	31,170ha	現状維持	31,120ha	3	31,123ha	3	
	3	(1) 自然環境	環境指標	農用地面積	9,320ha	現状維持	9,400ha	4	9,400ha	4	
	4	(1) 自然環境	環境指標	市内で生息等が確認されたことのある動植物のうち国や県の重要な種数	378種	現状維持	378種	4	378種	4	
	5	(1) 自然環境	取組指標	松くい虫対策事業による伐倒駆除率	97.1%	100%	61.7%	3	63.0%	3	
	6	(1) 自然環境	取組指標	ニホンジカ捕獲数	1,396頭/年 (石巻市及び女川町区域内)	1,700頭/年 (石巻市及び女川町区域内)	1,942頭/年 (石巻市及び女川町区域内)	5	2,135頭/年 (石巻市及び女川町区域内)	5	
	7	(1) 自然環境	取組指標	間伐事業整備面積（国有林を除く）	267.82ha	415ha	167.98ha	2	150.33ha	2	
	8	(2) 都市環境	総合指標	「公園などの緑が豊かだ」といった都市環境の満足度	31.8%	50.0%	42.8%	4	39.3%	3	
	9	(2) 都市環境	環境・取組指標	1人当たり都市公園面積	8.7㎡/人	16.0㎡/人	9.0㎡/人	3	9.1㎡/人	3	
	10	(3) 地域景観	総合指標	「農地の緑が豊かだ」といった田園風景の満足度	55.4%	70.0%	63.7%	4	56.6%	2	
	11	(3) 地域景観	総合指標	「街並みが美しい」といった都市景観の満足度	12.9%	30.0%	19.5%	3	17.4%	2	
	12	(3) 地域景観	環境・取組指標	観光客入込数	217万人	300万人	248万人	3	334万人	4	
環境負荷の低減	13	(1) 大気環境	総合指標	「空気がきれいだ」といった大気環境の満足度	55.3%	70.0%	57.5%	3	56.4%	3	
	14	(1) 大気環境	総合指標	大気環境に係る苦情発生件数	88件	0件	48件	4	49件	3	
	15	(1) 大気環境	環境指標	二酸化硫黄（SO ₂ ）の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	4	100.0%	5	
	16	(1) 大気環境	環境指標	浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	4	100.0%	5	

【5段階評価】 「5:十分に取組まれている」、「4:かなり取組まれている」、「3:ある程度取組まれている」、「2:余り取組まれていない」、「1:取組まれていない」

Ⅲ 石巻市環境基本計画の平成30年度実績点検・評価（環境目標・指標）

基本目標	No.	施策の分野	指標	指標項目	現況値（平成26年度）	目標値（平成37年度）	平成29年度結果	評価	平成30年度結果	評価	備考
環境負荷の低減	17	(1) 大気環境	環境指標	二酸化窒素（NO ₂ ）の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	4	100.0%	5	
	18	(1) 大気環境	環境指標	航空機騒音の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	4	100.0%	5	
	19	(1) 大気環境	環境指標	自動車騒音の環境基準達成率 （測定箇所平均達成率）	86.2%	95.0%	88.1%	3	98.3%	4	
	20	(1) 大気環境	取組指標	航空機騒音監視体制の整備（固定局数）	0局	3局	2局	4	3局	5	
	21	(1) 大気環境	取組指標	EV（電気自動車）の導入台数	0台	4台	5台（7台）	5	1台（8台）	5	
	22	(2) 水環境	総合指標	「河川の水がきれいだ」といった水環境の満足度	21.7%	40.0%	27.5%	3	21.2%	2	
	23	(2) 水環境	総合指標	「海の水がきれいだ」といった水環境の満足度	21.7%	40.0%	28.7%	3	24.5%	2	
	24	(2) 水環境	環境指標	河川におけるBODの環境基準達成率（達成箇所数）	7箇所中6箇所	7箇所中6箇所 （85.7%）	7箇所中7箇所	4	7箇所中7箇所	5	
	25	(2) 水環境	環境指標	海域におけるCODの環境基準達成率（達成箇所数）	21箇所中10箇所	21箇所中11箇所 （52.4%）	21箇所中14箇所 （66.7%）	4	21箇所中12箇所 （57.1%）	4	
	26	(2) 水環境	取組指標	下水道処理区域内の水洗化率	73.8%	80.0%	82.7%	4	84.3%	4	
	27	(2) 水環境	取組指標	雨水利用タンク普及促進事業補助金交付件数	50件/年	100件/年	31件/年	3	32件/年	3	
	28	(3) その他の環境負荷	環境・取組指標	アスベストに係る規制基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	4	100.0%	5	
	29	(3) その他の環境負荷	環境・取組指標	ダイオキシン類（大気）に係る環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	4	100.0%	5	
30	(3) その他の環境負荷	環境・取組指標	ダイオキシン類（水質）に係る環境基準達成率	100.0%	現状維持	—	—	—	—		

Ⅲ 石巻市環境基本計画の平成30年度実績点検・評価（環境目標・指標）

基本目標	No.	施策の分野	指標	指標項目	現況値（平成26年度）	目標値（平成37年度）	平成29年度結果	評価	平成30年度結果	評価	備考
循環型社会の構築	31	(1) 廃棄物	総合指標	一般廃棄物の埋立処分量	6,688 t	5,251 t	5,356 t	3	6,616 t	2	
	32	(1) 廃棄物	環境・取組指標	1日1人当たりの生活系ごみ排出量	785 g	688 g	※770 g (集団資源回収含む)	3	※736 g (集団資源回収含む)	3	
	33	(2) リサイクル	総合指標	リサイクル率	13.9%	15.7%	13.6%	3	13.3%	3	
	34	(2) リサイクル	環境指標	収集・直接搬入による資源化量	5,586 t	5,567 t	5,612 t	4	5,223 t	3	
	35	(2) リサイクル	環境指標	集団回収による資源化量	839 t	1,100 t	653 t	2	604 t	2	
	36	(2) リサイクル	取組指標	再生資源集団回収報奨金交付団体数	117団体/年	130団体/年	101団体/年	3	97団体	2	
	37	(2) リサイクル	取組指標	資源回収実施団体による実施回数	459回/年	520回/年	406回/年	3	395回/年	2	
低炭素社会の実現	38	(1) 地球温暖化	総合指標	市域の二酸化炭素排出量	1,378千t-CO2 (平成24年度値)	1,289千t-CO2	1,316千t-CO2 (H27年度値)	4	1,341千t-CO2 (H28年度値)	2	
	39	(1) 地球温暖化	環境・取組指標	地球温暖化防止に関する普及啓発事業の実施回数	1回	5回	1回	2	2回	2	
	40	(2) エネルギー	総合指標	1人当たり電力使用量	7.2kWh/人	6.9kWh/人	—	—	—	—	
	41	(2) エネルギー	環境・取組指標	太陽光発電システム補助件数	2,290件(累計) (~平成26年度)	5,000件(累計)	3,256件(累計) (~平成29年度)	5	3,519件(累計) (~平成30年度)	5	
	42	(2) エネルギー	環境・取組指標	蓄電池補助件数	67件(累計) (~平成26年度)	400件(累計)	250件(累計) (~平成29年度)	4	316件(累計) (~平成30年度)	5	
	43	(2) エネルギー	環境・取組指標	HEMS(家庭用エネルギー管理システム)補助件数	107件(累計) (~平成26年度)	700件(累計)	263件(累計) (~平成29年度)	5	318件(累計) (~平成30年度)	5	
環境市民の育成	44	(1) 環境市民の育成	環境・取組指標	(仮称)環境市民育成講座受講者数	10人/年	30人/年	56人/年	4	85人/年	5	
	45	(1) 環境市民の育成	環境・取組指標	こどもエコクラブの加入グループ数	8団体	40団体	3団体	2	3団体	2	
	46	(2) 環境保全活動	環境・取組指標	花いっぱい運動参加団体数	111団体	150団体	132団体	4	123団体	3	

【5段階評価】 「5:十分に取組まれている」、「4:かなり取組まれている」、「3:ある程度取組まれている」、「2:余り取組まれていない」、「1:取組まれていない」

Ⅲ 石巻市環境基本計画の平成30年度実績点検・評価（リーディングプロジェクト）

No.	回答課	事業名	事業内容	平成30年度の事業内容	評価	備考
1	環境課	生物多様性地域戦略策定事業 (平成30年度から)	本市には、海、山、川などの多様な自然環境があります。そこに生息・生育する様々な種類の動植物が、自然を介してほかの生物との間に様々な関わりを持っている状態を生物多様性といい、これが維持されていることで、私たちは自然から様々な恵みを受けています。 しかし、私たちはこれまで大規模開発や生物資源の乱獲などによって自然環境を破壊し、その結果、生態系の損失や種の絶滅、外来種の侵略など様々な問題が明らかになっています。また、東日本大震災では地震による地盤沈下や津波により、沿岸部の市街地や集落、自然環境が一変しました。こうした自然環境の喪失を踏まえ、持続可能な人と自然との関係を整理し、自然の恵みを将来世代に引き継ぐことを目的として、「生物多様性地域戦略」を策定します。	平成30年度は、県内で既に計画を策定している仙台市、登米市を訪問し、担当者に策定の進め方における各市の事例について話を伺った。 平成30年度第2回環境審議会では、市長に諮問を行い、計画策定部会を設置することが決定された。	3	【参考】 H29評価 ー
2	環境課	航空機騒音対策事業 (平成28年度から)	本市は航空自衛隊松島基地が位置する東松島市に隣接し、航空機の離着陸経路の下に位置していることから、騒音の影響を受けています。 航空機の騒音は本市の環境において大きな問題であり、平成28年度には基地機能の全面再開が見込まれる中、市は、新たに騒音測定機器を設置し、測定体制の強化を行うとともに、測定データに基づく国への要望を行っていきます。また、影響の少ない地域の住民に対しても問題提起や周知を行い、全市的な環境問題として喚起を促進します。	平成30年度は、新たに上釜地区（上釜会館）に航空機騒音測定機器1台を設置し、測定体制の強化を行うことができた。また、前年度の測定結果を「石巻の環境」に掲載することにより広く市民への周知を図った。	3	【参考】 H29評価 3
3	廃棄物対策課	ごみ減量推進事業 (平成28年度から)	ごみの減量対策は、市民・事業者・行政が連携し推進していかなければならない問題であります。 現在、一般廃棄物最終処分場の残余容量が、平成34年頃には逼迫すると見込まれるなど、本市のごみに関する状況は厳しいものがあります。そのため、実践につながりやすい情報提供や出前講座等の環境学習メニューを実践させるとともに自治会等と連携しながら分別指導を行い、地域に根ざした、ごみ減量化・リサイクル活動を推進する等の減量対策に取り組みます。 また、不燃物中間処理施設の建設など、ごみの減量化に係る各種課題の実現性を具体的に検討するとともに、分別によるリサイクルの充実や有料化など新たな対策を検討します。	平成30年度は、補助事業により食品ロス削減に向けて「もったいない、食べ残し、30・10運動」を中心に啓発活動を行った。 一つ目は、宴会や会食の際に、開始30分間と終了前10分間は自席で料理を楽しむことで、食品ロスの削減を目指す宴会編。 二つ目は、毎月10日と30日を冷蔵庫クリーンアップデーとして家庭の冷蔵庫内の消費期限の迫った食品や傷みやすい食材をチェックすることで食べ忘れを無くす家庭編。 なお、飲食店から出る生ごみも多いことから、市内の126の飲食店を訪問し「ミニのぼり、ポスター、チラシ」を配布し、事業所と家庭の両面から食品ロスの啓発を行った。 また、石巻市の将来を担う、子供たちにごみの減量に関心を持ってもらう事を目的とし、小学4年生の環境学習として行われている石巻広域クリーンセンターへの施設見学時にごみ減量講座を実施した他、小学校に出向いての環境学習を実施。 各種団体等に対する「ごみ処理の現状」、「3Rでごみを減らそう」「30・10運動」等をテーマとした出前講座の実施した。	4	【参考】 H29評価 4

Ⅲ 石巻市環境基本計画の平成30年度実績点検・評価（リーディングプロジェクト）

No.	回答課	事業名	事業内容	平成30年度の事業内容	評価	備考
4	環境課・ICT総合推進室	再生可能エネルギー導入推進事業 (平成28年度から)	本市では、太平洋に面し日照時間も長いことから太陽光発電に適した地域特性を活かし、太陽光発電システムの普及促進に努めてきました。今後は、石巻市震災復興基本計画の重点プロジェクトの一つである、再生可能エネルギーを活用した「低炭素なエコタウン」と、災害時に「灯りと情報が途切れない安全・安心まちづくり」の実現を目指す、石巻スマートコミュニティ推進事業を進めていきます。 また、本市でも一定規模の賦存量が見込まれる風力エネルギーやバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーについても、導入の可能性について検討を進めます。	平成30年度もスマートコミュニティ事業におけるCEMSの運用を継続している。スクールDRの運用では、BEMSが整備された市内小中高30校のうち平成29年度の実績が優秀だった学校から数校をピックアップし、毎月1日間行っていた節電行動を学期毎の一定期間に行い、より実証的なデータを収集することで「環境にやさしい安心・安全なまちづくり」に向けた取組を続けている。	4	【参考】 H29評価 4
5	環境課	環境教育モデル形成事業 (平成28年度から)	こどもへの環境保全教育はますます重要性を増してきており、地域の実情に合った環境教育の推進に関する方針の策定などが求められています。また、これまで実施してきた「自然環境確認調査」の結果など地域の環境情報を踏まえた、具体的な環境教育の教材やプログラムの開発も必要となります。 このため、教育委員会や環境関係団体と連携し、小学校・中学校において必要な環境教育のあり方及び内容について検討し、今後の本市における環境教育モデルを形成します。	こどもへの環境保全教育として、各中学校に酸性雨調査を依頼し、生徒が本市の酸性雨の状況を調査した。取りまとめ結果に関しては各中学校へ配付した。なお、例年実施していた水生生物調査については、悪天候により実施することができなかった。 一方で、具体的な環境教育のあり方及び内容については、教育委員会と検討することが少なかったため、今後は、協議を進める。	3	【参考】 H29評価 3